

令和5年度 学校・地域パートナーシップ事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等における結果について

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指数	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
東吉野村	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	与えられた課題については取り組むが、自ら考え、課題を設定して取り組むことができない生徒が多い。	与えられた課題や、自ら設定した課題に取り組むにあたって、解決できない場面に出会ったときに、自分なりに解決しようと頑張る生徒と、意欲を失う生徒が存在する。そうしたときに、その子に応じた適切な支援をすることで意欲を持続し、また意欲をもって取り組む生徒が育っていくと考える。そこで、学生が生徒の夏期勉強会に参加し、生徒の学習を支援する日数を増やしていく。	家庭においても、自ら考え、主体的に学ぶ生徒が増える。	日々の家庭での学習において、主体的に取り組む生徒数の割合	50	%	60	65	夏期休業中に開催した夏期勉強会において、生徒たちの学ぶ姿が多く見られた。今後も生徒たちが課題に対する取り組み方を見直す機会として、大学生の力を借りることで生徒たちが学ぶことの達成感や満足感を味わわせ、自主的に取り組む生徒を増やす。